

令和3年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部

第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース

小論文問題

実施期日 : 令和2年11月19日（木）
試験時間 : 9時30分～12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて3枚、解答用紙は4枚、下書き用紙は4枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机の上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、ならびに事前に大学から許可を得たもの以外は置くことができません。

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース
小論文問題

以下の文章は、東日本大震災を経験した特別支援学校に勤務する教師が、「特別支援学校教職員に求められること」と題して執筆した文章の抜粋である。この文章を読んで、問1と問2に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

（出典 片岡明恵（2016）第5章 避難所運営を通してみえた学校の役割—特別支援学校教師の立場から。「東日本大震災と特別支援教育—共生社会にむけた防災教育を」, P117-P120. 慶應義塾大学出版会株式会社。）（出題にあたり、原文の一部に数字と下線を加筆するとともに、文章の一部を省略した。）

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース
小論文問題

- 問1 下線部①について、あなたが特別支援学校の教師であるとしたら、特別支援学校で学ぶ子どもの災害対応能力を高めるため、どのような教育活動を設定するか、具体例を挙げて、考え方・理由を含めて、1,000字以上、1,200字以内で記述せよ。その際、災害、特別支援学校の教育の対象とする障害種別、教育活動を設定する子どもの年齢等は自由に設定して構わないが、文中にそれらの情報を明示すること。
- 問2 下線部②の考え方を参考にして、特別支援学校が地域を巻き込んだ防災教育をするためのアイデアを、700字以上、800字以内で記述せよ。なお、記述にあたり、「共助」という観点を盛り込むこと。